



「ほっとルーム」だより

第189号 令和6年5月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(子どもみらい課内 TEL 33-5618)

子どもさんの様子はいかがですか？

子どもさんの進級・入学の日から、約1ヶ月経ちました。子どもさんの様子はいかがですか？

新しい担任の先生、新しい友だち、新しい勉強と変化の多い1ヶ月でしたが、少しずつ慣れ、疲れが見えてくる頃かもしれません。特に小学校一年生は、小学校入学という新しい経験で、精神的・身体的に疲れています。話を聴いてあげて、親子の「心のふれあいの一瞬」を大事にしたいものです。また、親子で一緒に自然体験や体を動かして遊ぶのもいいのではないのでしょうか。

親子のふれあいは、時間の長さではなくタイミング

「あれしなさい、これしなさいと叱ったり、命令したりする時間はあふね。」



「共働きのゆゑ、ゆゑに子どもの相手になる時間がなくて困っています。」

親子の心のふれあいの深さは、子どもと一緒にいる時間の長さではありません。

～親子のふれあいのタイミングは、1日のうちに必ず2度はあります。～



第1のチャンス・・・ 朝起きて親子が初めて顔を合わせる一瞬



第2のチャンス・・・
・子どもが学校から帰ってきて
・保護者が仕事から帰ってきて } → 親子が顔を合わせる一瞬



朝、目覚めた時、外で頑張って帰ってきた時、子どもは一番、親の愛情を求めます。この貴重な時間に、親の愛情が、惜しみなく注がれると、それが子どもの心の電池にすばやく充電されます。

～ほっとルーム～
(子どもみらい課内)

子育ての中で、気になること等ありましたら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

TEL : 33-5654

FAX : 32-3124

中学生期は、人生第二の誕生期

心身共に成長する中学生期は、人生第二の誕生期といわれ、人格形成のうえでとても大切な時期であり、この時期をどう過ごすかが、将来の鍵をにぎるといっても過言ではありません。学業だけではなく、友だちと交わる力（社会性）を学習することも、子どもが成長していく過程で大切なことだと思います。

参考文献：東京家庭教育研究所 編 「知っておきたい家庭教育」より

新一年生長子家庭訪問を始めます。 玄関先での訪問になります。

5月の後半から、支援員が二人一組になって、新一年生長子家庭訪問を始めます。仕事等でお留守でも、お気になさらないでください。訪問名刺をポストに入れておきますので、ご希望の日時がありましたら、お知らせください。

※ ご希望があれば、長子に限らず、どの学年でも訪問いたします。

(TEL 33-5654)



親の身振りを真似て子どもは学び、

親は子どもの身振りの意味を考えて学んでいきます。

お互いに、身振りの言葉を分かり合えた親と子どもは、

心の深い交流ができるのです。

そして、その交流を通して子どもは、

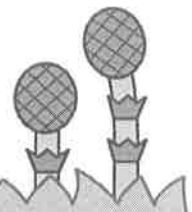
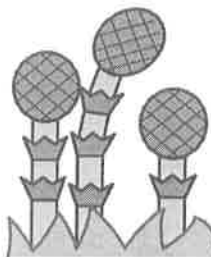
話す言葉を獲得することもスムーズにいくと

言われています。

「この子と一緒にいるのがうれしい、

この子といられて幸せだ」と思えた時、

肩の力が抜けて素敵な親子関係が生まれるのです。



広木 克行著 「親と子の絆を深め合う道程」^{みち}より

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24 ☎0120-783-574

24時間子どもSOSダイヤル ☎099-294-2200※携帯電話からはこちら

PTAすくすくライン(家庭教育やしつけについて) ☎0120-0-78310

☎099-251-0309